

「日本・タイ国際消防防災フォーラム」の開催

参事官

1 国際消防防災フォーラム

経済発展や都市化が進んでいるアジア諸国では、これまで以上に高度な消防防災体制を構築する必要性が高まっており、これらの国から我が国に対し、人命救助や消火技術、火災予防制度等に関する知見の共有や技術の移転に関する要望が増加しています。

このことを踏まえ、消防庁では我が国の消防防災技術・制度等をアジア諸国を中心に広く紹介する国際消防防災フォーラムを平成19年度から開催しています。

12回目となる本年度のフォーラムは、令和2年2月26日、27日に、タイのバンコクにおいて「日本・タイ国際消防防災フォーラム」と題し、タイ内務省防災局(DDPM)との共催で実施しました。



フォーラム 開会式

2 今次フォーラムの概要

フォーラムは、在タイ日本国大使館 関口昇公使及びDDPM Chainarong Vasanomsithi副局長からのスピーチで幕を開け、その後、消防庁 鈴木康幸審議官をはじめとする消防庁職員より、タイ側の要望等に応じて設定されたテーマについてプレゼンテーションが行われました。また、タイ側からも2つのテーマについてプレゼンテーションが行われ、タイにおける消防の実情が日本側の参加者に共有されました。プレゼンテーション後の

質疑応答では、参加者から多くの質問があり、とりわけタイ側の参加者の我が国消防の先進的な取り組みに対する関心の高さが伺われました。



会場内 プレゼンテーション

3 消防用機器等の「海外展開」の場としても

また、フォーラムには我が国の消防防災関係企業(16社)も参加しました。各企業の参加者は、ステージ上でのプレゼンテーションやそれに続く質疑応答セッションに加え、会場に隣接して設けられた展示ブースにおいて、自社製品のPRを行いました。



プレゼンテーション後の
日本企業と参加者との質疑応答



DDPM副局長に自社製品を
説明する日本企業

4 おわりに

今次のフォーラムは、DDPMやJETROの協力により、タイ国内から政府や地方自治体の関係者はもとより、消防防災の有識者や消防防災機器を取り扱う企業等、幅広い分野からの参加を得ることができ、官民連携して日本の消防防災分野における知見、経験、技術等をタイの消防防災関係者に幅広くアピールする良い機会となりました。

発表テーマ

【日本側】

- 日本の消防機関による災害対応
- 日本の消防における先進的な取り組み
- 日本の火災予防制度と消防用機器の規格・認証制度
- 日本の高度な消防戦術
- 日本の消防団

【タイ側】

- タイの消防行政
- タイの災害対応

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 坂下、稲毛
TEL: 03-5253-7507